

八丈島 水産だより 3月号 2013



フリージア



空港の近くにある八形山の「フリージアまつり」会場

いつもの年より寒い冬でした。まだ寒くて風が強く不安定な天気ですが、風のな
い時はポカポカと暖かく、しだいに春らしくなってきました。八形山のフリージア
畑では、約35万本のフリージアが観光のお客さんを待っています。3月20日か
ら4月7日には「フリージアまつり」が開催され、フリージアやあしたばの無料摘
み取り、八丈太鼓の体験やスタンプラリーなどを楽しむことができます。



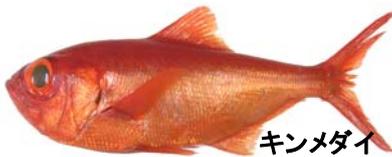
春トビを水揚げしてサイズ別に分ける

■ 天気との戦い！

強い風で海が荒れ漁に出ることができない
日が多く、漁師さんは大変です。海の天気を
注意深く予想し、海が穏かになる時を逃さず
皆でいっせいにしゅっこう出港します。島の漁港では、
春トビ（ハマトビウオ）やキンメダイ、メダ
イなどが水揚げされています。漁師さんが今
か今かと待ち望んでいるカツオは、まだほと
んど姿を見せません。



ハマトビウオ



キンメダイ



メダイ

■ 春トビの出荷

八丈島の春トビ漁は夕方から夜中まで行い、
夜明け前に漁港に戻ります。春トビを東京まで
運ぶ定期船は朝10時前に出港するので、獲
った春トビは朝一番で水揚げします。港でサイズ
別に分けられた春トビは、流れ作業であつとい
う間に発泡スチロールの箱に氷詰めになされま
す。そして、コンテナに積み込まれます。急が
ないと定期船に間に合わないの、朝の漁港は
緊張感がみなぎり活気にあふれています。



手ぎわよく春トビを出荷